

休日・夜間の病気やケガの時

市保健センター
☎32・3551

休日診療 *午前9時〜午後6時*

※受診前に必ず医療機関へ電話してください。

月 日	実施医療機関	住所	電 話
7月10日(日)	江藤病院	大林町	37・1559
7月17日(日)	碩心館病院	江田町	32・3555
7月18日(祝)	ライフクリニック	赤石町	37・1811
7月24日(日)	碩心館病院	江田町	32・3555
7月31日(日)	江藤病院	大林町	37・1559

夜間診療

午後6時〜午後10時

市内の医療機関が交代で行っています。

■案内専用電話(☎33・2581)

■市消防本部(☎32・0119)

■市役所当直室(☎32・2111)

※休日・夜間診療は徳島新聞にも掲載されています。

※実施医療機関の都合により変更となる場合があります。

※詳しいことは市保健センター(☎32・3551)まで



航標俳句会

首飾り机にはづし夏の月 日開野町 泉 美予子
 山法師白きがゆえに触れがたし 江田町 江川 啓子
 吉野窓詫寂今に苔の寺 小松島町 島田 菊美
 浜満たす夏に透かせる珊瑚石 新居見町 宝 大作
 産土や小道を塞ぐ夏あざみ 田浦町 多田 純子
 厨房に大きな炎夏来たる 中田町 中原久美子
 紅色の楊梅ひとつ口に入れ 榑瀨町 服部 佳文
 樺林に緑さす路踏み惜しむ 横須町 松永 卓司
 吟詠に鳩の降り来る浜木綿 新居見町 泉 千草

全国瞬時警報システム(Jアラート)

定期試験放送

※気象状況などによっては放送を中止する場合があります。

7月27日(水) 午後4時15分ごろ

詳しくは、市危機管理・感染症対策推進課(市役所4階)

☎34・9014 / FAX32・3522

放送内容のご確認は、☎35・4000



小松島市観光名所シリーズ⑱

SL広場のC12機関車と客車

SL広場におかれているC12蒸気機関車は国鉄時代に地方の輸送量の少ない、短距離、小回りという路線用に開発された機関車です。石炭と水を積み込んだタンクを持ち、比較的経費がかからず維持できる機種でした。三軸動輪、重量50トン、最高速70km、最大出力約560馬力といった仕様であったようです。

当地に鎮座する車両は282(293という説あり)両製造中の280という番号であることから晩年に製造されたものであると推察できます。この車両は当初、現在の図書館敷地東側に置かれていました。そこには小さな公園があり、子供達が機関車に乗って遊ぶ光景を目にすることができました。現在連結されている客車は、SL広場に移転する際に接続配置されたようです。国鉄時代のもので木造の窓枠、垂直の背もたれ椅子であり、原型をとどめていますが、車体色はオリジナルではなく、塗り替えられたものと聞いています。

現在、国内では栃木県の真岡鐵道にて動態保存されており、主に土日に運転されているようです。大井川鐵道でも同型機関車が1987年より運転していましたが、2022年5月現在は運転休止中となっていました。

もし実際に走行する姿を見ることができれば鉄道マニアでなくとも、回転する動輪、連動するリンク類、蒸気排気の音、石炭の燃えるにおい等に感動を覚えるのではないかと感じます。

ちなみに四国内では愛媛県内子町と宇和島市に同型機関車が静態保存されています。

SL広場の機関車および客車に入ることは現在禁じられていますが、イベント時には内部を利用することでかつての列車旅気分を味わうことも期待できるのではないかと思います。

【お問い合わせ先】

NPO法人小松島市観光ボランティアガイド協会のこまつしま観光案内ステーション(JR南小松島駅内)
☎32・1537